



霜柱

ななほしだより



平成30年2月
ななほしキッズ

今年の冬は例年に比べ寒さが厳しく園庭の霜柱であそぶこともよくあります。子どもたちは寒さも忘れて大喜びです。また、いくら寒くても散歩は欠かせません。そのためかインフルエンザにかかることもなく元気いっぱいのななほしキッズたちです。この調子で冬を乗り切って欲しいと思います。

2月の行事

1日	木	安全点検
2日	金	豆まき、リズム
5日	月	エコ活動
8日	木	身体計測
9日	金	誕生会
15日	木	避難訓練・緊急対応訓練
17日	土	保育参観日
22日	木	交通指導 (南加納保育園との交流)
毎週水曜		リズム・ふれあいあそび



2日の豆まきではいろいろな鬼を退治する予定です。既に、ほし組の壁には子どもたちが色塗りをした大きな鬼が睨んでいますが、その鬼の姿に全く怖がることもなくボールを投げて楽しんでいました。さあ！果たして当日は、鬼に向かって豆を投げることができるでしょうか！？

又、この日は加納交流センターでリズムあそびを楽しみます。子どもたちはきっと広いホールで思いっきり走り回ることでしょう！

お知らせ

17日は保育参観日です。天気が良かったら、加納公園まで親子で歩いて行き、その後マラソン大会を行います。元気いっぱいの子どもの姿をご覧ください、応援をよろしくお願いします。詳細は後日お知らせいたします。

※雨の場合は、保育室で親子制作を計画しています。(おひなさま作りをする予定です。)



22日は南加納保育園と交流をする予定です。南加納の子どもたちと遊具などで楽しくあそびます。



ハイチーズの一回目の写真販売はいかがでしたでしょうか。二回目の販売は後半(秋～冬)の写真になりますが、今月中に販売開始の予定です。

地域の方々が作られた陶芸(おひなさま)ができ上がりました。どれも素晴らしい作品で、皆さん喜んで持って帰られました。





ヨイショッ!



1本は千切り大根にしてみました。



ほら、
だいこんだよ!

だいこん収穫!

大小様々でしたが、自分で掘った大根を持ち帰りました。肥料袋の畑にしてはうまくできたと思います。

工、食
H30 2月

ホットケーキ作り!



1/26、ホットケーキ作りをしました。詳しくは清武社会福祉会ホームページスタッフブログをご覧ください。



チューリップの芽



人参は間引きをしたので元気が出ましたよ!



フロッキー、
ほうれんそう、
キャベツも
大きく育っています。

2月 ほしぐみだより



○自分の思いをうけとめられ、安心感のなかで好きな遊びを十分に楽しむ。

○散歩や戸外遊びを通して冬の自然に触れ、体を動かすことを楽しむ。



2月3日は節分、4日は立春です。そこまで春が来ていますが まだまだ寒い日が続きますね。子どもたちは節分の鬼を作ったり、鬼にボールを投げて遊んでいます。お天気の良い日は外に出て凧上げや霜柱など冬ならではの遊びをしたり、公園で体を使った遊びをしています。行動範囲も広がり、自分たちで遊びを見つけたり、いろんなことに挑戦して楽しんでいます。この頃、随分成長が見られるようになりました。



自我の育ち(「ちいさななかま」より)

「自我」とは、他者とは違う自分を意識し、自分を発揮したいと思う心の動きです。自我の芽生えとは、「自分なりの心の世界」の誕生です。「いや〜」「自分で!」と自己主張をするのはどこまで相手に通じるかを大人に対して試したりしながら、どうしたらいいかを選択していこうとする姿の現れです。拒否や主張の形で表現される自我を育てるために、一歳なりの意欲やつもりに共感し、それを大切にしてくる大人の存在です。ここでの「共感」が「言いなりになる」ことではなく、子どもの思いを尊重しながら、大人の思いや考えを子供の分かる様に伝えていくことが必要になります。泣いたり笑ったり甘えたりといろんな表情を見せてくれる子どもたちです。子育てを楽しみましょう。



お知らせ

○17日の保育参観日は天気が良かったら加納公園で楽しく遊びましょう。運動の出来る服装で来てください。

○体調を崩しやすい時期です。気になることがあるときは些細なことでもお知らせください。

○なるべく薄着を心がけ冬を元気に乗り切る体を作りましょう。





2がつクラスだより



H.30 2月
ななほしキッズ

保育目標

- 一人一人の思いや欲求を受け止め、安心して過ごせるようにする。
- 保育士や友だちと一緒にのびのびと体を動かしてあそぶ。(戸外あそび、リズムあそび)
- この時期の自然を見たり、触れたりし、興味や関心をもつ。



1月は寒い日が続きました。寒さに負けずななほしキッズたちは冬をたっぷり楽しんでいます。広い加納グラウンドで凧揚げをしました。この日は風が強くて凧がよくあがり、子ども達は大喜びでした。園庭では霜柱あそび。ジャリジャリ踏んだり、ままごと遊びに使ったりしました。(かき氷屋さんだそうです) また室内ではさくらんぼリズムで体を動かしたり、節分行事の鬼の面や、鬼の壁面作りをしました。



「たこたこあがれ〜」



「つめたいね」



「ジャリジャリ音がするよ」



「トンネルつながったー」



鬼の壁面づくり



「ポンポン色塗りしたよ」



鬼の面を作りました。



あそびの中で、楽しみながら…

保育室にせんとくロープを張って、せんとくごっこをしています。「おせんたくもの、ほそう」「かわいたよー」などと、声が飛び交っています。洗濯物を取りこむと、たたんで重ねてくれます。おうちの人や、先生たちの真似をしているようです。また、お弁当包みを遊びの中で楽しんでいます。遊びの中でできるようになったことが、生活の中で生かされていきます。年下のお友だちは、年上のお友だちの真似をしていろんな遊びに興味をもっています。

絵の紹介



わかまつゆきひささん



いずかんなさん





平成30年2月号
清武社会福祉会

気温が低く、乾燥した日が続いています。2月4日は、暦の上では立春で春を迎える時期とされていますが、一般的に1月下旬から2月にかけて最も寒くなると言われています。

インフルエンザ、感染性胃腸炎など、感染症も流行っていますので、手洗い・うがいをしっかり行い、予防に努めましょう。また、長時間換気をしない室内はウイルスやほこりで汚れています。寒くてもこまめに空気の入れ替えを行いましょう。

コンコンッ！ 咳のかぜ、引いていませんか？

寒さが深まり、あちこちから咳が聞こえてきます。乾燥が原因の咳もありますが、ウイルス性のものは飛沫感染によって広がっていきます。咳エチケットを守り、咳が出ている時はマスクを着用しましょう。

おうちでのケア



洗濯物を干したり、加湿器をつけたりして、湿度を調節し、喉を潤しましょう。



咳がひどい時は、背中の下に枕やクッションを置くなどして上半身を高くしましょう。呼吸がらくになります。



麦茶や白湯など、刺激のない飲み物で水分補給をこまめに行いましょう。

県内の感染症情報

県内ではインフルエンザ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎などが流行しています。

特にインフルエンザは、県内各地で流行警報レベルに達しており、注意が必要です。インフルエンザは重症化しやすく、合併症も心配されます。引き続き、感染予防に努めましょう。

感染性胃腸炎が流行り始めています

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合もあります。

下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行ってください。



汚れた衣服は…

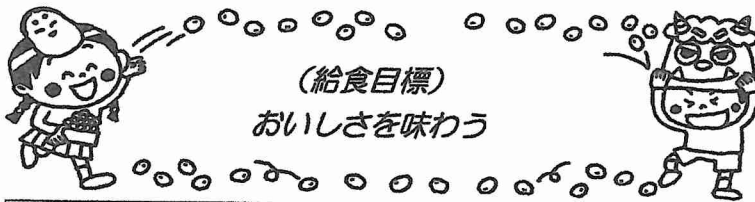
85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。

消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。

汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。

すくすく通信2月号

2月4日は立春、春の始まりという季節の言葉です。春に先駆けて咲く梅の花は心を和ませてくれるものです。しかし、まだまだ寒さのきびしい日が続き、感染症の流行もなかなかおとろえを見せません。手洗い、うがいをしっかり行うとともに、普段からいろいろな食べものをバランスよく食べ、感染症に負けないじょうぶな体をつくりましょう。



(給食目標)

おいしさを味わう

(内容配慮)

- いろいろなものを組み合わせて食べることが丈夫な体をつくることを知らせる
- はしの正しい持ち方を繰り返し教える
- 温かいうちに食べられるよう配慮し、配膳する
- 食中毒を予防するために、手洗いと消毒を徹底する

(食育目標) 病はソト、健康はウチ

○大豆・大豆製品の効用を知り、毎日食べて健康に過ごす

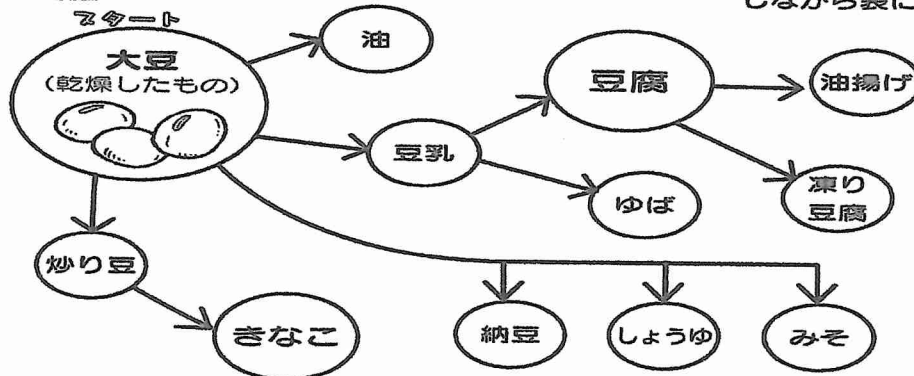
発育期には良質のタンパク質が必要不可欠です。大豆製品には、同じタンパク源の肉や魚と比べると、生活習慣病を防ぐ働きもあります。

○冬を元気に乗り切るために、寒さに負けない丈夫な体をつくろう

冬は体を保温するためにエネルギーを消耗します。体の抵抗力を高め、風邪を予防するには、バランスよく組み合わせて食べることが大切です。体温を調整し、抵抗力をつけるタンパク質、喉や鼻の粘膜を強くするビタミンA、ウイルスの感染を防ぐビタミンCを十分に摂り、丈夫な体作りを心がけましょう。

大豆が変身していくよ！

(ヒント) 加工はひとつだけじゃないものもたくさんあります。

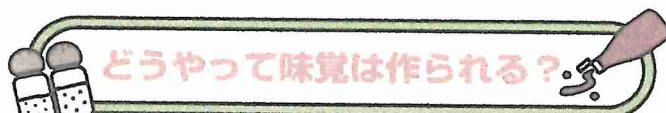


★変身するためには、どんな加工が必要なのか、加工方法の例を参考にしながら表に書いてみましょう。

加工方法の例

- ・ 水につける
- ・ 煮る
- ・ 発酵させる
- など

大豆はさまざまな加工によって、いろいろな食品に変化します。昔からわたしたちの食生活に欠かせない大豆製品を調べてみましょう。



どうやって味覚は作られる？

子どもの味覚は身体の成長と同時に形成されていきます。薄味を基本にして、素材そのものの味を大切にしましょう。甘味・塩味・うま味は人間が本来好む味ですが、経験により好むようになる味が苦味・酸味です。経験のない子どもには苦手な味になりやすいのです。今は味覚が形成される重要な時期。いろいろな素材と味に慣れ、幅を広げていくことが大切です。多くの味の経験が「おいしい！」感覚を作っていきます。

今月のメニュー

ミルク鍋、おび天、いかと大根の煮物

おび天とは・・・昔、飢肥地方は魚が大変貴重で、高級魚はなかなか食べられなかった。そこで、イワシ、アジ、トビウオなど工夫して作られたものがおび天である。

<材料 4人分> 魚のすり身 160g、豆腐 100g、生姜や根菜類 20g、味噌大さじ 1/2、黒砂糖大さじ 1/2、卵 1/2 個、塩

①魚のすり身を用意する②豆腐は水気を絞る③野菜類を細かく切る④フードプロセッサーに卵、調味料をいれ攪拌する⑤形を整え、低めの中温で揚げる